

狐のくれた赤ん坊（1971）

メディア 映画
ジャンル ファミリー ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 89分
初公開日 1971/05/29
公開情報 ダイニチ映配

【解説】
1945年に製作された「狐の呉れた赤ん坊」の再映画化。小説家の谷口善太郎が原作、映画監督の丸根賛太郎が原作と脚本を担当し、三隅研次が監督した人情喜劇。
大井川の渡し場。居酒屋で川越人足の“張り子の寅八”と、馬方頭の丑五郎が取っ組み合いの喧嘩をしていたとき、人足仲間が「化け狐が出た」と店に飛び込んできた。様子を見に行った寅八は現場で赤ん坊を発見、仕方なく引き取ることにする。寅八は子供を善太と名付け、酒も賭け事もやめて育て上げた。七歳になった善太が大名行列にぶつかってしまい、寅八は子供の代わりに斬ってほしいと懇願。真摯な態度でお許しをもらうことができた。だが実は善太がとある藩の落胤であることが判明し、藩の重役が迎えにやってきた。

【クレジット】
監督 三隅研次
原作 谷口善太郎
丸根賛太郎
脚本 丸根賛太郎
撮影 牧浦地志
美術 内藤昭
編集 山田弘
音楽 鎗木創
助監督 辻光明
出演 勝新太郎 張り子の寅八
大谷直子 おとき
中谷一郎 馬方丑五郎
岸田森 勝谷栄之進
藤原釜足 大黒屋蜂左エ門
田武謙三 浪華屋甚兵卫
大川修 へちまの辰
美川陽一郎 鎌田大学
田子ノ浦忠雄 賀太野山
森章二 仏の六助
伊吹新吾 侍 乙
黒木現 侍 甲
花布辰男 松屋容斉
沖時男 笹井竹斎

原聖四郎	久右エ門
新関順司郎	しょんぼり松
香川雅人	善太
松田剛武	川越人足
村井宏之	平吉
高寺正	三平
武田誠子	善太（三才）